

保護者の皆様

横浜市立仲尾台中学校

校長 藤井 正春

令和 5 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和 5 年 4 月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が先日公表されました。中学 3 年生を対象に、これまでの学習の取組状況等が調査されたものです。以下に本校の結果の概要をお知らせいたします。

《 教科に関する学力調査の結果 》

◎調査結果からみる本校の特徴

- ・数学と英語に、県や全国の平均正答率と比べてやや高い状況が見られました。

中学校 「平均正答率 (%)」

	国語	数学	英語
仲尾台中学校	69	54	52
神奈川県との差	-1	+2	+2
全国との差	-0.8	+3	+6.4
神奈川県	70	52	50
全国	69.8	51	45.6

※神奈川県、全国値は、公立学校の平均正答率です。

◎調査結果に特徴のある問題を基にした各教科の分析

・国語

問題番号 1 二の意見の根拠と情報との関係についての理解、問題番号 2 三の文章の要旨を把握する問題については、正答率 69%、79%と、それぞれ全国より 4 ポイント高いです。問題番号 3 一の読み手の立場に立って文章を整える問題、問題番号 4 一の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす問題の正答率は、80%と全国より 3 ポイント高いです。問題番号 1 四の聞き取ったことをもとに自分の考えをまとめる問題、問題番号 3 二の文脈に則した漢字を正しく書く問題の正答率は、それぞれ 78%、37%と全国より 4 ポイント低いです。

・数学

問題番号 7 (1) 四分位範囲の意味を理解をみる問題の正答率 73%と全国より 7 ポイント高く、問題番号 7 (2) 箱ひげ図の箱に着目して、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明ができるかをみる問題の正答率 44%と全国より 10 ポイント高いです。問題番号 5 の累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題の正答率 39%と全国より 7 ポイント低いです。

・英語

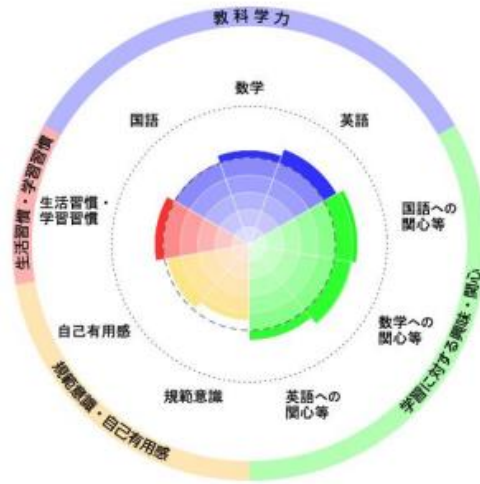
本校と全国平均の正答率を学習指導要領の領域 (①「聞くこと」、②「読むこと」、③「話すこと」、④「書くこと」)に関連してみると、①66.4%、②59.0%、③15.3%、④26.2%と、それぞれ全国より①8.03 ポイント、②7.83 ポイント、③2.88 ポイント、④2.76 ポイント高いです。しかし、③④については無解答率も高く、特に④の自分の考えを記述する問題については全国平均よりも低い正答率となっています。

《 生活習慣・学習習慣と教科に関する調査結果との関係 》

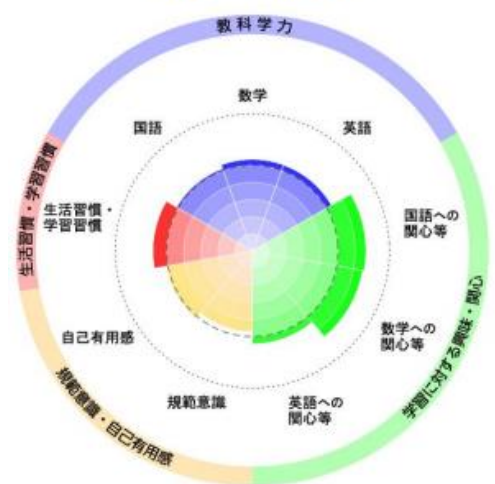
円グラフ内の教科学力は学力調査の結果で、表面の数値と連動しています。令和4年度は英語は実施していません。その他の3つの項目は、生活調査の回答結果です。円グラフの中央にある点線部分が、それぞれ全国平均、神奈川県平均です。

【令和5年度 中学3年生】

【児童生徒】
生徒質問紙(全国基準)

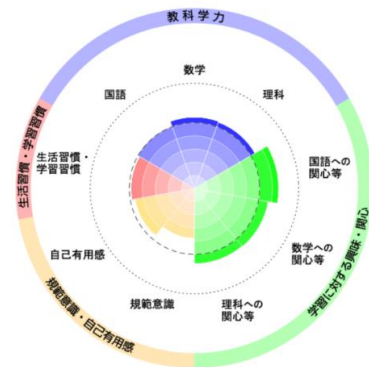


生徒質問紙(神奈川県基準)

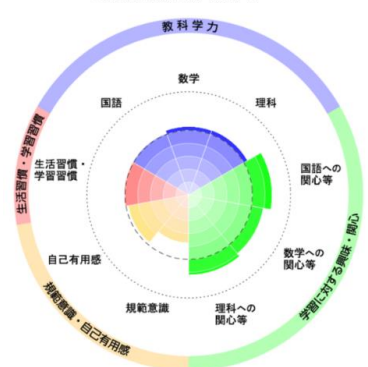


【※参考 令和4年度 中学3年生】

【児童生徒】
生徒質問紙(全国基準)



生徒質問紙(神奈川県基準)



◎生徒が回答した質問紙からみる本校の生徒の特長と課題改善にむけた学校の取組

・「教科学力」「学習に対する興味・関心」について

「教科学力」は数学と英語で全国・県の平均よりも高くなっています。「学習に対する興味・関心」は国語と数学で全国・県の平均よりも高くなっています。今後さらに、主体的で対話的な深い学びを実現する授業を計画し、単に学習内容を伝える講義的な授業だけではなく、言語活動や生徒同士の意見交流などを重視した授業を心掛け、自分の考えを表現できる生徒を育成していきます。また、ICTを活用しながら、〈言語能力〉聴く・語る（聞く・話す）力および、〈問題発見・解決能力〉の育成を図ります。

・「規範意識・自己有用感」「生活習慣・学習習慣」について

「自分には、よいところがあると思いますか…80.2%（全国 80.0%）」「人が困っているときは、進んで助けていますか…85.7%（全国 88.1%）」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか 88.1%…（全国 86.8%）」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか… 82.0%（全国 65.6%）」「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか…88.9%（全国 77.9%）」

肯定的な回答が増えています。引き続き、授業改善に関する取組を通して、友達と協力して学ぶことを楽しいと感じ、困っている友達を助けようとする態度を育むことにより、規範意識や自己有用感を高めていきます。また、学習や学校行事、部活動等を通して、現在の自分に対する肯定的な見方や将来への不安を少しでも払拭することができる指導も継続して行っていきます。安定した生活習慣が安定した学習習慣につながります。ご家庭や地域との連携も更に進めます。